

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県横須賀市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	29	対象	ド透I訓ガ	救臨感災地輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
396,992	26,943	非該当	非該当	7:1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
476	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	6	482
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
376	-	376

**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

地域医療支援病院、災害拠点病院の指定を受けるなど、三浦半島西側の拠点病院としての役割を担っています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は新型コロナウイルス感染症関連の国庫及び県補助金による医療外収益の大幅な増加により、前年度のポイントを大きく上回りました。  
 「②医療収支比率」は、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減に伴ない医療収益は大きく減少しましたが、職員給与費の減等により平均値を上回りました。  
 「③累積欠損比率」は前年度までの繰越欠損金の影響により、類似病院の平均値を大きく上回っています。  
 「④病床利用率」は新型コロナウイルス感染症等の影響により入院患者数が減少したことより類似病院の平均値を大きく下回っています。  
 「⑤入院患者1人1日当たり収益」は新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴ない前年度を大きく上回りましたが、手術件数の減等により類似病院の平均値を下回っています。  
 「⑥外来患者1人1日当たり収益」は立地による地域性の影響により、類似病院の平均値を下回っています。  
 「⑦職員給与費対医療収益比率」は職員給与費が減少した一方で、医療収益の減少幅が職員給与費の減少幅を上回ったため、前年度及び類似病院の平均値を上回っています。  
 「⑧材料費対医療収益比率」は前年度より0.8ポイント減少するとともに、類似病院の平均値も下回っており、適切な水準を維持しています。

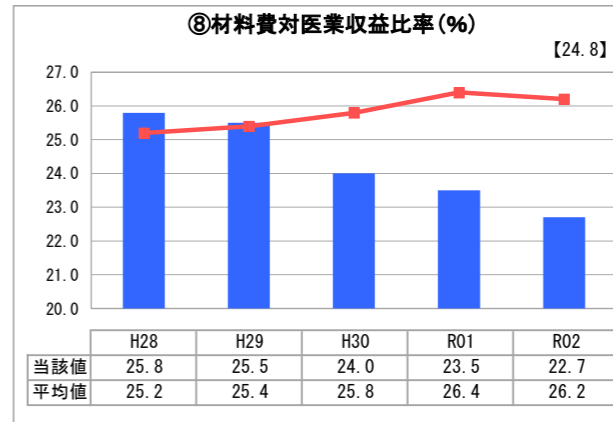
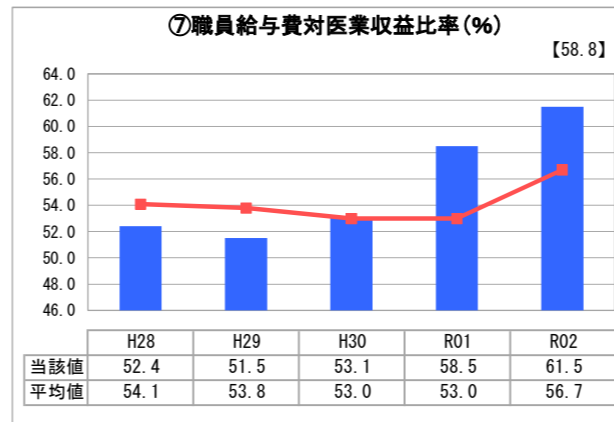
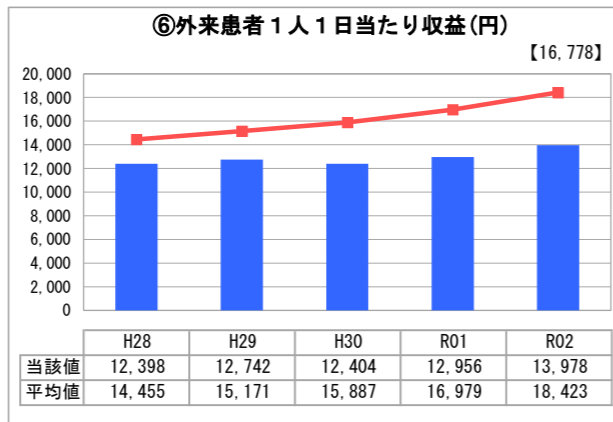
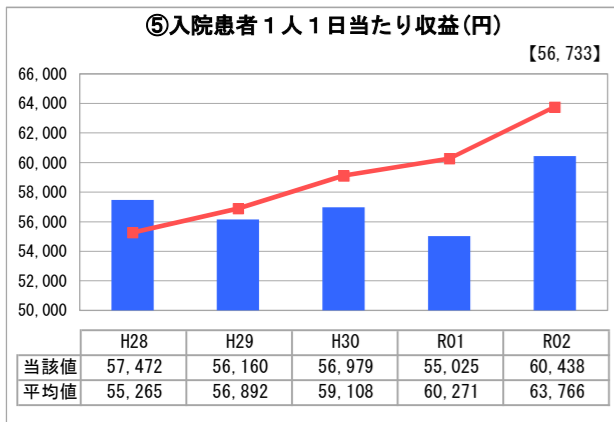
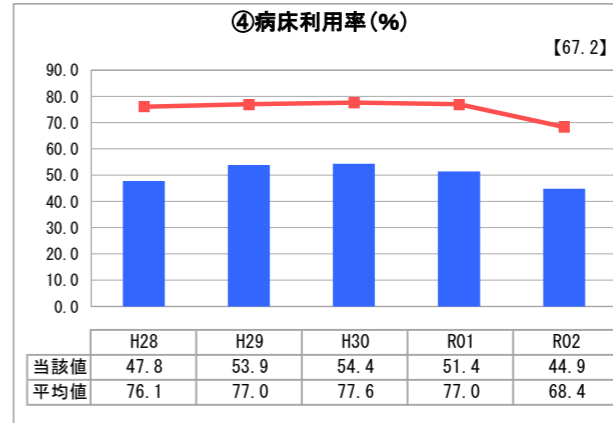
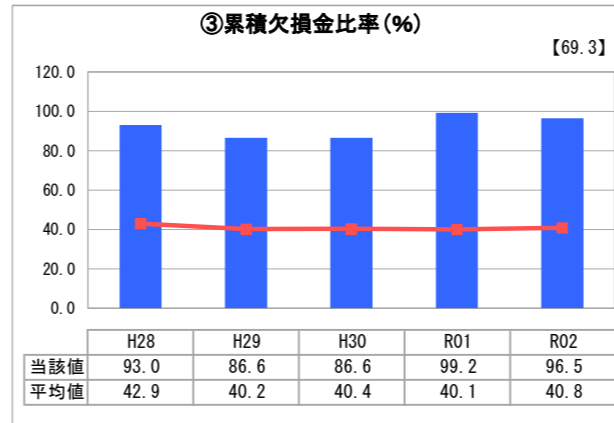
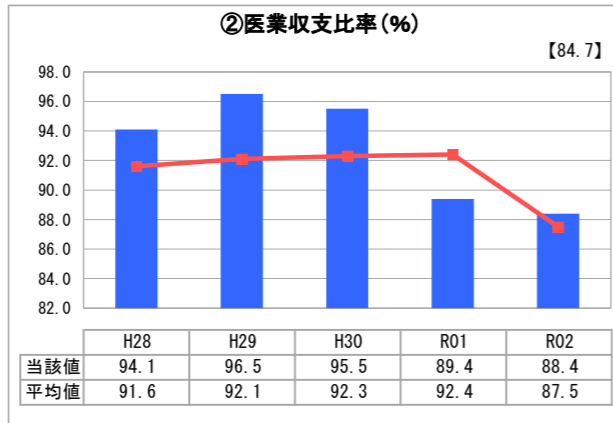
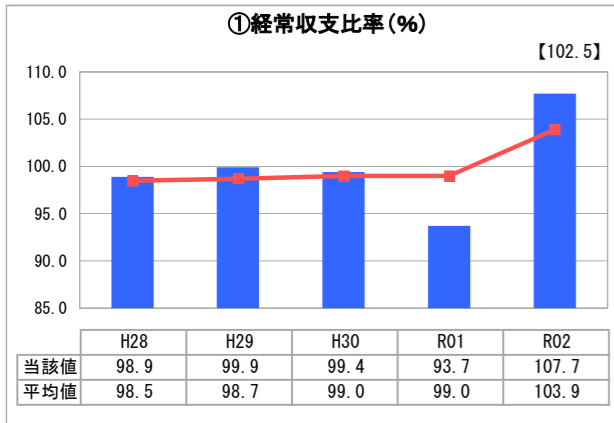
### 2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は類似病院と同様に上昇傾向にあり、昭和59年3月に竣工した本館等の減価償却が進んでいるため、平均値を上回っています。  
 「②器械備品減価償却率」は類似病院の平均値を上回っているものの、器械備品の更新は計画的に行っているため、例年とほぼ同水準で推移しています。  
 「③1床当たり有形固定資産」は類似病院の平均を大きく下回っています。

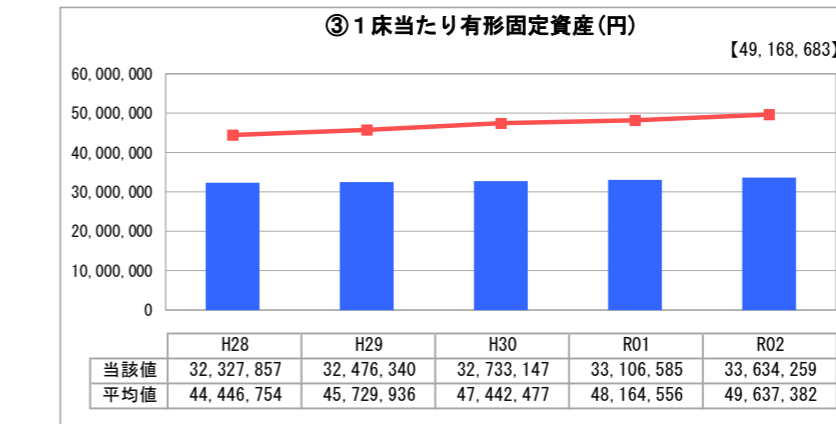
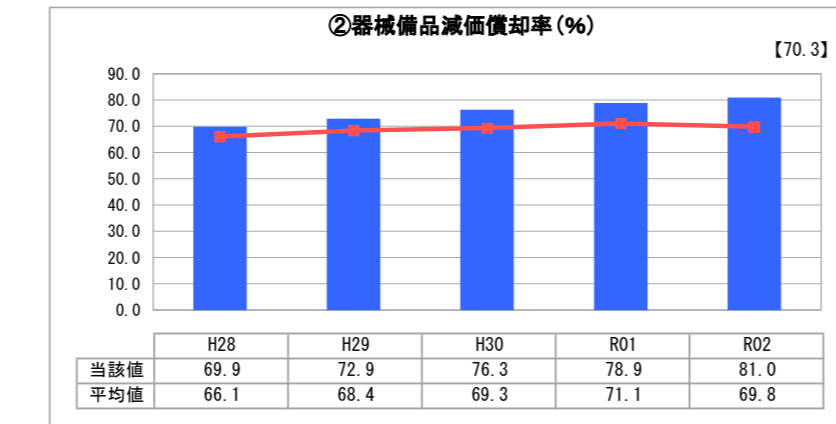
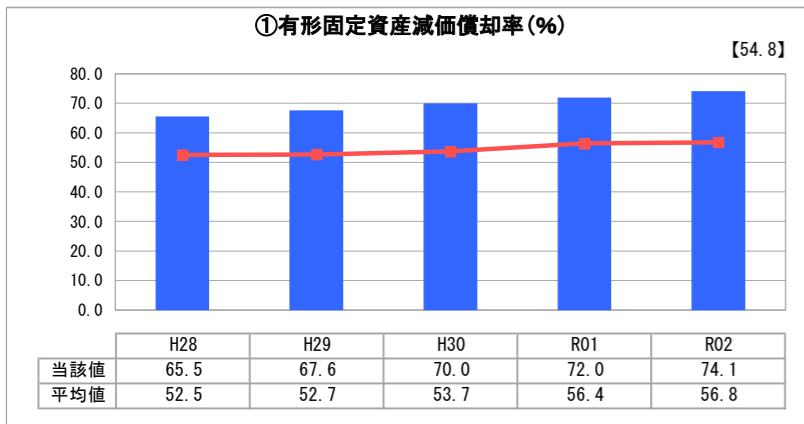
### 全体総括

自治体病院として、救急医療や高度医療等の不採算部門の医療も担う中で、指定管理者制度(利用料金制)を導入し、経営の健全性の確保に努めてきましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響で、医療収益の減少が続いています。  
 今後は、施設の老朽化に伴う再整備の検討が必要となる時期の到来が見込まれますが、将来的な人口予測を踏まえながら、地域で担うべき医療や病院の規模を検討しつつ、健全な病院運営に努めていきます。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。